

平成30年度

福島区運営方針自己評価

(最新の取組状況報告を含む)

運営方針とは

運営方針は「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として毎年度策定しているものであり、区将来ビジョンの単年度のアクションプランにもなっています。

運営方針の全体スケジュール(平成31年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度運営方針	最終振り返り											
平成31年度運営方針					中間振り返り							
令和2年度運営方針						素案策定					当初案確定	

平成30年度福島区運営方針の体系

【区の目標像】
お子さんからお年寄りまで、
これからも住み続けたいまち 福島区

経営課題1

人と人がつながり支え
合うまちづくり

経営課題2

次世代を元気に育むまち
づくり

経営課題3

にぎわいと魅力あふれる
まちづくり

経営課題4

区民が満足・納得できる
区役所づくり

経営課題1 人と人がつながり支え合うまちづくり

戦略1-1 地域力の強化による防災・減災・安全対策の推進

【最終目標と平成30年度の結果】

目標	目標値	H30結果	目標達成
災害時の自助や共助の重要性について認識している割合（区民モニターアンケート）	70% （H30年度までに）	81.8%	達成
防犯カメラを設置することで街頭犯罪の減少・抑止につながっていると思う割合（区民モニターアンケート）	90%以上 （H33年度までに）	87.6%	達成

※ 区民モニターアンケート → 福島区独自アンケート（2,000人の無作為抽出中約430人）

【平成30年度の主な取組内容】

- 中学生被災地訪問事業
⇒ 防災に関してこれまでより自らの役割を意識するようになった」割合100%
報告会参加の地域住民へのアンケートで中学生の報告が防災意識の向上につながった割合91.9%
- 小学生・中学生の防災訓練（小学校6校・中学校3校）
- 地域防災計画の作成 ⇒ 2地域（海老江東・海老江西）
- 防犯カメラの設置 20台増設 累計270台

【今後の対応】

- 地域防災力向上のために効果的な事業展開と地域と連携した支援に取り組む



中学生被災地訪問事業
～津波避難タワー～

経営課題1 人と人がつながり支え合うまちづくり

戦略1-3 地域活動協議会等の自律的な活動の促進

戦略1-4 継続可能な地域活動の実現

【最終目標と平成30年度の結果】

目標	目標値	H30結果	目標達成
地域が自律的な地域運営に取り組めるようになっていていると感じている地域団体の割合 (地域活動協議会の構成団体へのアンケート)	60% (H33年度までに)	66.7%	達成
さまざまな市民活動団体が集まって、地域の活動や地域課題について話し合うことが活発になっていていると感じている地域団体の割合 (地域活動協議会の構成団体へのアンケート)	60% (H33年度までに)	45%	未達成

【平成30年度の主な取組内容】

- 地域活動協議会の予算・決算情報を区ホームページで公開
- 各地域活動協議会の紹介記事を広報ふくしまに掲載
- 地域活動の財源を獲得する事業として、環境局とともに各地域にコミュニティ回収の検討を支援した
⇒平成31年から2地域が開始予定
- 地域活動協議会の役員や構成団体の方々に準行政的機能・総意形成機能の説明を実施

※ 準行政的機能 → 行政では行き届かない分野をカバー（補完）して地域課題を取り組み、まちづくりを進めていく
総意形成機能 → 地域の将来像など住民のさまざまな意見の調整や取りまとめを行う

【今後の対応】

- 地域活動を活性化するため、マンション住民など幅広い住民が地域活動に参画し、担い手不足解消につながるよう、まちづくりセンターを活用しながら積極的に支援を行う

経営課題2 次世代を元気に育むまちづくり

戦略2-1 妊娠期から就学前のこどもを持つ親に対しての子育て支援

戦略2-2 「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進

【最終目標と平成30年度の結果】

目標	目標値	H30結果	目標達成
待機児童等がない状態を保つ	0人 (H33年度までに)	1人	達成
「区役所の取組みによって子育て不安や負担感が軽減された」と回答した割合（3歳児健診時アンケート）	80%以上 (H30年度までに)	94%	達成
学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる教育会議委員の割合（教育会議の委員へのアンケート）	40%以上 (H31年度までに)	100%	達成

【平成30年度の主な取組内容】

- 待機児童解消のため保育施設整備：募集5ヶ所全件決定
- 赤ちゃん広場・子育て支援事業の実施
- 中学生被災地訪問事業（再掲）
- 特別支援教育・発達障がいボランティアを小学校に派遣
- 小中学校へのゲストティーチャー派遣事業
- 区民センターでの中学生対象の課外学習事業(TERACO)
- 区内の小学校3校で小学生学習支援事業



ゲストティーチャー大島さんのダブルダッチの授業

通学区域の変更

福島小学校・上福島小学校の通学区域の変更

- 令和2年4月に通学区域変更
- 変更対象区域の令和2年度新1年生は、原則として上福島小学校に就学
- 変更対象区域の福島小学校在校生（現1～5年生）は、希望すれば卒業まで福島小学校へ通学可能

小学校	現行の通学区域	変更後の通学区域
福島小学校	福島1丁目～5丁目 福島6丁目1番1～27号、 54～62号	福島4丁目
上福島小学校	福島6丁目1番28～53号、 2～25番 福島7・8丁目	福島1丁目～3丁目 5丁目～8丁目

現行

変更後



通学区域変更に向けたスケジュール

令和元年5月中旬～6月下旬
変更対象区域の福島小学校在校生への
通学校選択確認、結果人数公表

8月下旬～
令和2年度新1年生向け学校選択制手続

12月下旬～
就学通知の送付、指定校変更手続

児童虐待防止の取り組み

大阪市版ネウボラ

すべての子育て家族にとって、安心して気軽に相談できる場をめざす

「ネウボラ」とは、フィンランド語で「アドバイスする場所」という意味で、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない支援を、ワンストップで行う制度とそのための地域拠点そのものも指します。

現状の課題

誰に・どこに相談したらいいのかな・・・？



妊娠

出産

子育て

支援

顔の見える関係
相談



- ・母子健康手帳
交付時面接
- ・母親教室等



- ・出生連絡票
の受付
- ・新生児訪問
- ・子育て支援情
報の案内等



乳幼児健診
(3か月児・1歳6
か月児・3歳児)

地区担当保健師



専門機関につなぐ

子育て支援室

福島区保健福祉センター

地区担当保健師との信頼関係の強化

- ・集合写真等で担当保健師を周知
- ・母子健康手帳に担当保健師名を明記
- ・担当保健師による継続的な育児支援

など

子育て家族支援の充実

- ・パパと子手帳に担当保健師名を明記
- ・出生届出時における家族への支援
- ・わくわくマタニティー教室への父親の参加の勧奨
- ・プレパパ、ママの育児セミナーの勧奨

など

専門機関につながる相談しやすい窓口(保健師)を知ってもらう
など、安心して子育てができるよう支援します。

子育てサークル

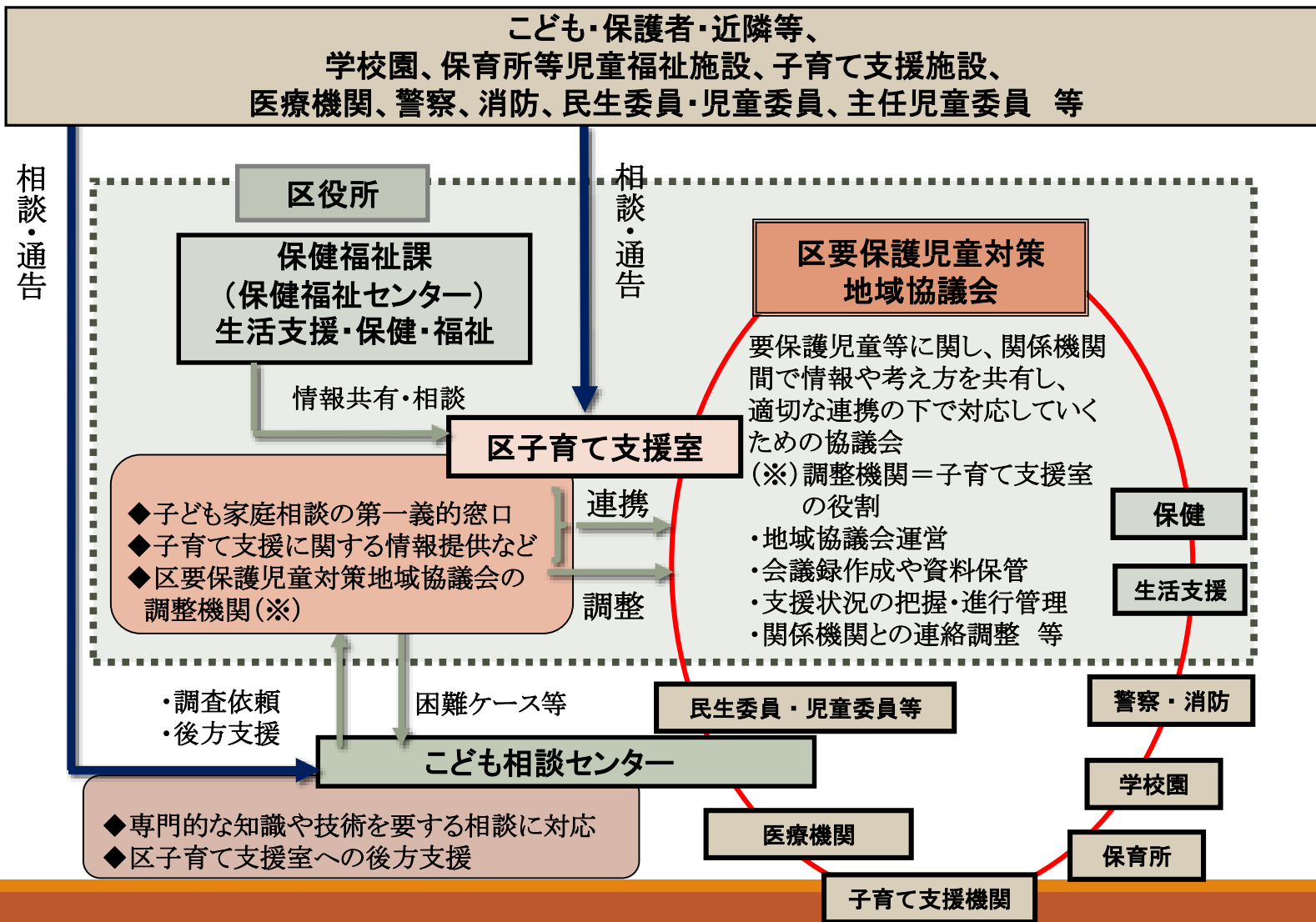
子ども・子育てプラザ

関係医療機関

子育て支援機関

など

区要保護児童対策地域協議会等関係図



経営課題3 にぎわいと魅力あふれるまちづくり

戦略3-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

【最終目標と平成30年度の結果】

目標	目標値	H30結果	目標達成
区主催・共催イベントの来場者数を増やす	7万人 (H33年度までに)	70,094人	達成

【平成30年度の主な取組内容】

- のだふじ巡り 26,780 人
 - ざこばの朝市 19,659 人
 - ふくしま水辺フェス 2,000 人
 - ほたるまちジャズライブ 1,500 人
 - ノダヤオン 830 人
 - 台船を活用したイベント等 19,200 人
 - その他 125 人
- ※数字は来場者数

⇒「またイベントに来たい」と回答した割合 95%
※イベント来場者へのアンケート



ざこばの朝市のように

経営課題4 区民が満足・納得できる区役所づくり

戦略4-1 区民が区政運営に参加・参画する仕組みの更なる充実

戦略4-2 区民サービスの向上と効率的な区行政の運営

【最終目標と平成30年度の結果】

目標	目標値	H30結果	目標達成
区政運営に区民の意見や要望が反映されていると感じている区民の割合（区民モニターアンケート）	60%以上 （H33年度までに）	25.2% （H29年度 24.0%）	未達成
区の様々な取組について企画・計画の段階において区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合（区民モニターアンケート）	60%以上 （H33年度までに）	26.5% （H29年度 25.8%）	未達成
区の様々な取組についてそれらの終了時に意見を聴くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合（区民モニターアンケート）	60%以上 （H33年度までに）	31.5% （H29年度 30.3%）	未達成
区役所が効果的・効率的な区政運営が行われていると感じている区民の割合（区民モニターアンケート）	60%以上 （H33年度までに）	38.5% （H29年度 44.7%）	未達成

【平成30年度の主な取組内容】

- 区政会議の開催 4回(部会含む)
- ラウンドテーブルの開催 2回
- 区民モニターアンケートの実施 2回
- 区長に届けみんなの声、そして小さな声
⇒126件
- 広報紙、ホームページ、Twitter、facebook
での情報発信
- 教育会議での意見聴取
- 職員への接遇研修・窓口モニタリング調査
- 区役所2階フロアの窓口案内表示の改善



区政会議ラウンドテーブルの様子

【今後の対応】

- 区政会議の運営面では、フィードバックの徹底やラウンドテーブルの導入などの取り組みを進めているものの、区民全体へ十分に伝わっていないと考えられるため、区政運営への意見反映の結果について、SNSを活用するなど新たな手法も取り入れて認知度アップに努める

自己評価の総括

【1年間の取組成果と今後取り組みたいこと】

- ・「中学生被災地訪問事業」を実施し、参加生徒全員から「災害時に自分の役割を考えるきっかけになった」と回答があった。また、報告会では地域関係者から「感銘を受けた」「ぜひ続けてほしい」など高く評価していただき、地元経済界からも多額の寄付をいただくなど、地域と一体となって推進できたと考える。今後、防災行政と連携するなど、最大限の事業効果を発揮できるよう進めていきたい。
- ・区役所業務格付けにおいて、平成29年度に引続き「★★（星2つ）」を維持することができた。今後も一層のサービス向上に努めてまいりたい。

【解決すべき課題と今後の改善方向】

人と人とがつながり支え合うためには、地域活動やイベントによる住民同士の交流によって地域全体のコミュニティを強めることが重要で、そのきっかけとなる地域活動への参加が少ないことが課題である。

地域活動活性化に向け、中間支援組織を活用しながら地域の実情に応じた支援を行い、地域活動への参加促進につなげる。

令和元年5月1日区役所特設窓口の開設

福島区オリジナル婚姻届の作成、記念撮影コーナーの設置

ご結婚されるお二人の門出を区役所として祝福するため、公募により福島区オリジナル婚姻届2作品を決定し、H31年3月より無料で配布開始。1Fロビーには撮影コーナーを設置。



令和元年5月1日 婚姻届受付特設窓口の設置(区役所1F)

56組のカップルのみなさまが婚姻届を提出され、記念撮影も楽しんでいただきました。



G20大阪サミット開催に伴う 交通規制等の啓発を実施

【開催日・会場】

令和元年6月28日～29日 インテックス大阪（大阪国際見本市会場）

【周知内容】

開催時における交通量の削減

マイカー利用の自粛、業務用車両の運行調整の協力依頼

6月27日～30日の間、資源ごみ収集、容器包装プラスチック収集、粗大ごみ収集を休止

- ・ 学校園の臨時休業

6月27日～28日の間、市立の幼稚園、小学校、中学校の休業

- ・ 開催会場、ホテル、公的施設等での警備強化



JR福島駅周辺の安全安心で 魅力あるまちづくりへの取り組み

なにわ筋沿いの清掃活動



平成30年11月 「福島安全で魅力あるまちづくりを推進する会」 設立
平成31年 1月 なにわ筋沿いの清掃活動 実施（毎月1回）

市内企業様から寄贈をいただいた 防犯カメラを商店街入口付近に設置



平成31年 2月 防犯カメラ 設置

継続的に健全で安全安心なまちづくりをめざす

令和元年7月7日

福島の魅力とポテンシャルに触れる取り組み

「ふくしまてんこもり2019」

